

日本共産党船橋議員団

ミニにゅす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>

市会 議員
 関根和子 ☎447-0557 佐藤重雄 ☎432-9872
 事務所☎440-7950 岩井友子 ☎438-8647
 金沢和子 ☎422-5278 事務所☎429-2160
 渡辺ゆう子 ☎462-7273 中沢 学 ☎493-8140
 松崎さち ☎419-8470 坂井洋介 ☎404-2039



▲7月15日、「戦争法案の採決強行を許さない！」と国会正門前で抗議する人たち。(しんぶん赤旗 7月16日付15面より転載)



◀7月12日、市内薬円台公園で、「戦争法反対！習志野自衛隊員を戦地に送るな！平和を求める船橋市民集会」が開催され、500名が参加。集会後、自衛隊習志野駐屯地前を通って北習志野まで、「戦争法案絶対反対！」とコールしながらデモ行進しました。

▶7月14日、安保法制の強行採決前日、船橋市議会の有志13名の議員が、安保法制の早急な採決に反対する宣伝を行いました。参加したのは、朝倉幹晴、池沢みちよ、岩井友子、浦田秀夫、金沢和子、坂井洋介、佐藤重雄、関根和子、立花孝志、中沢学、松崎佐智、三宅桂子、渡辺ゆう子の各氏（敬称略）。市民の方の参加も得て、1時間にわたり宣伝活動を行いました。（左は、演説する坂井議員。その右側は立花議員。）

国民の世論と戦争法案 必ず廃案へ 運動の力で

日本を「海外で戦争する国」につくりかえる戦争法案が、7月16日の衆院本会議で、自民、公明両党によって強行採決されました。

今、連日国会前で、全国各地で、集会やデモ、抗議行動がとりくまれ、「戦争法反対」「強行採決許さない」の世論が高まっています。安倍政権は国民の声を聞くべきです。



待機児童問題

「公立保育園2、3園を閉鎖して

いるような状況」は行政の怠慢

6月議会では、3月に引き続き「保育園の待機児解消策」をとりあげました。

公立の保育園で定員を400名近くも「空けて」おきながら、一方で1000名もの児童が「待機させられて」いるのは、

「保育行政が機能していないあかし」と追及しました。

市も「保育士の不足」が原因と認め、来年度を待たずに改善を約束しました。これに関し、来年度船橋市が募集する保育士の数を「50名程度」と、7月15日付広報に募集案内を掲載するなど、変化が見られます。

年度途中での採用、それも臨

時・非常勤の保育士の確保のためには、「待遇改善」が待ったなしです。これについても、年度内の補正も含めて検討することを前提に、「待機児童解消緊急アクションプラン」として議会に提出されました。

このプランには「保育士の処遇改善」が明記され、市外からも確保したいと「保育士確保キャラバン」の実施計画も入っています。



「日本建鉄跡地」汚染問題で

会社が住民説明会開催

三菱電機(株)は、7月9日・恒久対策は、10月頃開始すると11日、塚田公民館にて、山手一

丁目の「日本建鉄工場跡地」から発がん性のあるトリクロロエチレンなど、基準を上回る有害物質が検出された問題で住民説明会を開催、2日間で170名の参加がありました。

土壌汚染については、敷地内の大半はコンクリートなどで覆われ、それ以外はシートで覆って飛散防止しており、健康への影響の恐れは極めて低い。地下水汚染については、7月末から下流側の敷地境界に井戸を設置して水を汲み上げ、浄化してから放流する。土壌の入れ替えや地下水の有害物質を除去する

日本共産党は、引き続き徹底した汚染の除去と健康被害対策を求めています。